

加藤晃一教授が第48回（2011年度）ベルツ賞1等賞を受賞しました。

本研究室の加藤晃一教授らが第48回（2011年度）ベルツ賞1等賞を受賞しました。「ベルツ賞」は、日本とドイツの間にある歴史的な医学領域での交流関係を回顧し、またその交流関係を更に深めていく目的で、ベーリンガーインゲルハイムが1964年に設立した伝統のある医学賞です。毎年、時宜に応じたテーマで論文を募り、優れた論文に対し授与します。第48回（2011年度）の募集テーマは「アルツハイマー病」でした。アルツハイマー病の発症に関与するアミロイド β ($A\beta$)の重合は、神経細胞表層に存在する糖脂質GM1ガングリオシドのクラスターとの相互作用を契機として促進されます。加藤教授らは、超高磁場NMRを用いた研究によりガングリオシドの存在下における $A\beta$ 構造の初期変化の詳細を明らかにすることに成功し、そうした成果に基づいた論文「アミロイド蓄積開始機構の解明と治療薬開発への展開」に対して本賞が授与されました。授賞式は2011年11月25日にドイツ大使公邸において行われました。

<http://prtimes.jp/data/corp/2981/b2116aa9eb85b2312f2f474c3de17d17.pdf>

